



2015(平成27)年度を迎え新しい働きが広がります。

園長 山下 勝弘

2015(平成27)年度も6月を迎え、白河めぐみ学園・白河こひつじ学園ともに新しい生活づくりが具体化しています。両学園で生活している児童にも変化がありました。白河めぐみ学園では、4月から6月までに新しい利用児童7名を迎えました。これは利用児童全体の25%になります。白河こひつじ学園でも、利用児童が入所するとともに退園して成人施設へ入所した児童がいます。

また、ようやく両学園用地内の放射能除染事業が終了し、少しは安心して環境整備を進めることができるようになりました。この状況下で今年度の利用児童の生活を具体的に育てる努力をしています。

さらに8月(予定)からは、両学園に隣接して、共生型福祉施設「白河まきびとセンター」が事業を開始します。このセンターでは、「児童発達支援センターまきびと(利用定員20名)と小規模保育事業(利用乳幼児10名)の支援サービスが提供されます。この事業の開始によって牧人会には0歳児から高齢者までの支援サービスシステムが整備され、両学園を中心にしたこの場所が牧人会の児童領域支援の中核として、新しい支援サービスの働きを提供することになります。

今年度も両学園の利用児童の生活形成と、開始される新しい支援サービスの働きをご理解くださるとともにご支援くださるよう、お願いいたします。

親子レクリエーション大会



5月6日に、太陽の国体育館でめぐみ学園こひつじ学園合同の「親子レクリエーション大会」を行ないました。借り物競争、変身ゲームではカードの指示にしたがって物を探したり、変身したりしながら、ゴールを目指しました。玉入れは青組が勝利しましたが、綱引きでは紅組が圧倒的な強さで勝利し、とても盛り上がりました。みんな笑顔で楽しい時間を過ごす事が出来ました。

園外活動



5月3日には男の子のグループが県文化財センター「まほろん」に行き、大昔の人の生活を体験してきました。
5月4日には女の子のグループが、小峰城公園に行き、良いお天気の中、散歩をしながらのんびり過ごしてきました。
市内のレストランで昼食を取り、お腹も満足し、楽しい時間を過ごすことができました。

誕生日会(4月)



4月生まれのお友達のお誕生日のお祝いをしました。
主役の児童は、皆からお誕生日のお祝いの歌を歌ってもらい、プレゼントを受け取りとても嬉しそうでした。

苦情解決委員会

子どもたちの生活や環境、職員の対応などについての苦情を受け付け、解決に取り組みます。お気軽にご相談ください。

また、牧人会の苦情解決第三者委員会も設置されています。苦情受付箱「みんなのこえ」への投書や受付窓口などに直接相談するほか、第三者委員に相談することもできます。

